



EDEは次の4科目から構成されます。

環境

衣・食・住・働・遊などわたしたちの暮らしが環境負荷の低い循環型のものであること。そのためにすぐに使える、暮らしに役立つテクニックから、コミュニティという単位で実現可能な技術、さらに自分たちで新しいオリジナルな方法を生み出していける基礎や哲学も学びます。

テーマ例:「エコ建築とその改修」「食の生産」「適正技術」「自然の回復と災害後の再生」など

経済

社会システムをささえている経済システムを理解することで、社会を変える方法が見えてきます。現行の経済学でなにが解決できてないかを理解すれば、新しい経済の仕組みをつくりだすことができます。エコロジーや友愛の思想をベースにした新しい経済のあり方を学びます。

テーマ例:「社会的企業」「コミュニティ銀行と通貨」「制度面と資金面の問題」など

社会

「人間関係」も、わたしたちにとって「環境」のひとつ。ひとりひとりの豊かな個性がいぎいきと発揮され、誰もが安心して暮らせる社会、自分にとっても周りにとっても居心地よくかけがえのないコミュニティをつくりあげ、運営していくためのスキルを学びます。

テーマ例:「コミュニケーション・スキル、意志決定とファシリテーション」「個人のエンパワーメントとリーダーシップ」「健康と癒し」など

世界観

他の3科目、さらにすべての土台となる、意識の持ち方について学びます。楽しい未来に向かって進んでいくために必要な、ホリスティック(統合的)な物の見方や、その中で優先順位を的確に判断できる目を養います。

テーマ例:「自然の声に耳を傾け、つながろう」「気づきと意識の転換」「創造性と芸術」など

※カリキュラム詳細は7月にアップされます。
<http://www.gaiaeducation.org/docs/EDEJapanese.pdf>

開催日程

経済	社会	世界観	環境
第1回 2008年 11月 1日(土) 2日(日) 3日(祝)	第2回 2008年 11月22日(土) 23日(日) 24日(祝)	第5回 2009年 2月13日(金) 14日(土) 15日(日)	第6回 2009年 3月20日(祝) 21日(土) 22日(日)
第3回 2008年 12月20日(土) 21日(日) 22日(月)	第4回 2009年 1月10日(土) 11日(日) 12日(祝)	第7回 2009年 4月29日(祝) 30日(木) 5月 1日(金)	第8回 2009年 6月12日(金) 13日(土) 14日(日)

開催場所

日本大学 富士自然教育センター
〒418-0107 静岡県富士宮市佐折字狂入632-3

※JR見延線・富士宮駅から富士急静岡バス「休暇村富士」行き 田貫湖前下車(約45分・800円)
※東京駅→富士宮駅は高速バスも運行されています。
※会場へのお問合せはご遠慮ください。

定員

30名(お早めにお申し込みください)

参加費

全8回参加の場合 25万円
(2008年9月15日までに支払いの方は24万円)
1科目(2回)参加の場合 7万円
1回参加の場合 4万円

※講座受講料・宿泊費・食費を含みます。
※受付は全8回参加される方が優先されます。全8回/4科目の参加でガイア・エデュケーションより修了証書が発行されます。
※1科目あるいは1回参加の場合、修了証書は発行されませんが、1科目(2回)を受講されると1科目分の単位として認定されます。
※分割払いも可能です。ご希望の方はお問い合わせください。
※欠席した回のクラスの振替は、翌年の同じテーマの回の受講により可能です。宿泊費と食費は再度徴収させていただきます。

主催: 懐かしい未来ネットワーク(NPO法人 開発と未来工房)
日本エコビレッジ推進プロジェクト

後援: NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議
環境省(予定)

お問合せ・お申込み

E-mail: jepp.org@gmail.com
くわしくは、<http://jepp.org/> <http://afutures.net>

第1回

EDE エコビレッジ・デザイン・ エデュケーション

～未来につづく暮らしの学び～

2008年11月～2009年6月

いよいよ日本初開催/受講生募集。
お早めにお申し込みください。



自分も世界も同時にハッピーにできる、
いちばん早くて確実な方法。

エコビレッジとは?

一人や一家族では実践が難しい持続可能な暮らし方も、コミュニティという単位なら可能になります。行政や企業主導ではなく、自分たちでコミュニティのあり方を考え、楽しみながら積極的につくりあげていくのがエコビレッジ。10名前後のメンバーからなる小さなものから、1,000人をを超える大きなものまで、世界中に、すでに15,000ものエコビレッジがあるとされています。

いまよりずっとしあわせに暮らしながら、
 持続可能な未来をつくっていく方法があるのを
 知っていますか。衣食住、エネルギー、お金、環境、孤独、
 子育てや老後の不安・・・
 いまの暮らしにまつわる問題の解決策のほとんどは
 「エコビレッジ」にあります。

みんなで共同農園を持って、楽しく作物を育てたり。自動車をシェアし合っ
 て、少ない台数とエネルギーですませることができたり。自然エネルギーを
 利用した快適な家に住み、個人の家のほかに、みんなでともに過ごす共有ス
 ペースもあり、そこには必ず誰かしらいて、ちょっとした悩みを相談できたり。
 週に何日かは交代で夕食を作って、大家族みたいににぎやかに食事したり。
 両親が働いていても、手のあいている大人みんなが声をかけて子供たち
 はいつも安心して暮らすことができたり。一人っ子でも、たくさんの兄弟
 がいるかのようにわいわいと切磋琢磨し合って成長できたり。

エコビレッジは、現代に生きるわたしたちの、とぎれて
 しまった「ココロとカラダ」「人と人」「人
 と大地」といったあらゆるつ
 ながりやを、ていねいに回復して
 いくワクワクする試みです。そこ
 で取り戻される循環型の暮らし
 は、健康な身体、人や自然とつな
 がって生きることの喜び、持続可能
 な環境を同時に実現してくれます。



微生物などの力を借りる
 バイオダイナミック農法

EDE (エコビレッジ・デザイン・エデュケーション) は、
 国連「持続可能な教育のための10年」の重要な位置を占める、
 国際的な教育カリキュラム。

いよいよ日本でも記念すべき第1回のスタートです。

エコビレッジを作るのに必要なのは、智恵と技術。そして正しい知識と世界
 観。EDEの講座内容は、世界12カ国ですでに学ばれているカリキュラムを、
 日本の社会状況に合わせてアレンジしたユニークなプログラム。たとえば、
 自分の心と世界の流れをとらえ、バランスをとっていくための具体的な方法
 や、人との関係の中で自分の思いを実現していくこと。経済の読み方や、リ
 ーダーシップの取り方。セルフビルドや農的暮らしやエネルギーといった、
 持続可能な生活のスキルなど。これからの、ますます先が読めない時代を
 生き抜くのに必要となる実践的内容が盛りだくさん。国内外から各分野の
 第一人者を講師陣に迎え、集中的に効率よく学びや気づきを深めていくこ
 とができます。

Q EDEは
 誰が作ったの？
 いつできたの？

A 国際NGOグローバルエコビレッジ
 ネットワーク (GEN) の教育部門、
 ガイア・エデュケーションがプログラムのガ
 イドラインづくりを担当。ガイア・エデュ
 ケーションは、世界中で長年にわたりエコビ
 レッジづくりや教育に携わってきた第一線
 のエキスパート集団GEESE (持続可能な
 地球のための国際エコビレッジ教育者) に
 より組織されました。EDEプログラムは、
 GEESEのメンバーが1998年から集い、
 2006年から試験的にはじまりました。



Q 今まで
 どんどころで、
 どのように
 おこなわれたの？

A 2007年度以降世界12カ国 / 15カ所 (オーストラリア、インド(2カ
 所)、タイ、イスラエル、ポルトガル、ドイツ、イギリス(2カ所)、ブラジ
 ル、メキシコ(2カ所)、ポリビア、アルゼンチン、アメリカ) で開催されました。

Q どんな人を
 対象と
 しているの？

A 今の暮らし方に疑問を感じて
 いる方、今住んでいる場所や
 今後の移住先で、持続可能な暮らし
 とコミュニティをつくりたい方、その
 ための仲間やネットワークを探して
 いる方、効果的なファシリテーショ
 ン方法を学びたい方などを対象とし
 ています。



大家族のようにみんなで食事



わらと土だけでできた、
 自然に還る家

経済

ヘレナ・ノーバーク=ホッジ

経済グローバル化に対する世界的なオピニオン・リーダー。ライト・
 ライブリッド賞受賞。ISEC (エコロ
 ジーと文化のための国際協会) 代表。
 著書『ラダック 懐かしい未来』(山と
 溪谷社) など。

田中 優

グローバル経済のカラクリを斬新な
 視点で読み解くとともに、平和で持続
 可能な社会づくりを提案・実践。未来
 バンク事業組合理事長。著書『おカネ
 で世界を変える30の方法』(合同出
 版) など。

社会

榎本 英剛

コーチングとリーダーシップのトレーニ
 ングを国際的に展開。GEN評議員。
 CTI (The Coaches Training Institute)
 ジャパン創業者 / 顧問。

森 良

学びと参加をつなぐコーディネーター。
 NPO法人エコ・コミュニケーションセン
 ター代表。「持続可能な開発のため
 の教育の10年」推進会議 (ESD-J) 理
 事。

世界観

廣水 乃生

米国プロセスワーク研究所にて葛藤
 解決・組織変革ファシリテーションマ
 スターコース修了。コミュニティ・ファ
 シリテーション研究所代表。

古田 偉佐美

「木の花ファミリー」創設者。同じ価
 値観を持つ仲間たちとの出会いを機
 に1993年、静岡県富士宮市に同コミ
 ュニティを創立。運営面、精神面とも
 に中心的な役割を果たしている。

メイ・イースト

フィンドホーン財団の、エコビレッジ
 教育プログラムの責任者。財団・
 GEN・国連を繋ぐ国際関係ディレク
 ター。インターナショナルホリスティッ
 ク大学講師。エコビレッジ教育者。

環境

糸長 浩司

パーマカルチャー、エコビレッジ運動
 の学術分野における第一人者。日本
 大学生物資源科学部教授。NPO法
 人パーマカルチャー・センター・ジャ
 パン代表理事。

山田 貴宏

エコ建築や共空間のデザイン、まちづ
 くりなどをテーマとする。ピオフォルム
 環境デザイン室代表。

日高 保

伝統的な工法、自然素材の活用によ
 る建築設計を行っている。きらくなた
 てもや代表。

木の花ファミリー畑隊

食糧自給率ほぼ100%の木の花ファ
 ミリーにおいて、自然農法国際開発
 研究センター等と協力しながら、有機
 農業を日々実践しているチーム。

全体

古橋 道代

GEN日本大使として、世界のエコビレ
 ッジの動きを日本に紹介。エコビレ
 ッジ・デザイン指導者養成コース (4週
 間、フィンドホーンにて) 修了。日本エ
 コビレッジ推進プロジェクト代表。

鎌田 陽司

NPO法人開発と未来工房代表理事。
 懐かしい未来ネットワーク代表。チベ
 ット伝統医療復興支援ネットワー
 ク代表。KJ法マスター。



冷房不要で快適
 パンプソーラー技術